

がん感染症疾病対策課感染症対策係
 担当 中山 長藤
 直通：092-643-3597
 内線：3066

福岡県感染症発生動向調査感染症週報

令和6年第37週（令和6年9月9日～令和6年9月15日）

福岡県感染症情報センター

■ コメント

- ・9月24日～30日は、「結核・呼吸器感染症予防週間」です。
- ・結核は、結核菌によって発生するわが国の主要な感染症の一つです。全国で、毎年新たに10,000人以上の患者が発生しており、1,500人以上が命を落としています。結核の症状（長引く咳、たん、微熱、体のだるさ等）には特徴的なものがなく、初期には目立たないことが多いため、特に高齢者では気づかないうちに進行してしまうことがあります。定期的に、胸部エックス線検査を含む健康診断を受けることが重要です。結核を発症しても、早期に発見できれば、重症化を防げるだけではなく、家族や友人等への感染拡大を防ぐことができます。咳やたんが2週間以上続いたり、微熱や体のだるさが続いたりする場合は、早めに医療機関を受診しましょう。
- ・呼吸器感染症には、新型コロナウイルス感染症や季節性インフルエンザ、RSウイルス感染症、細菌性肺炎等があります。秋や冬は、呼吸器感染症が例年流行する季節ですので、適切なマスク着用を含む咳エチケット、手洗い・手指消毒、換気など基本的な感染対策を心がけましょう。
- ・福岡県感染症情報ホームページ(https://www.fihs.pref.fukuoka.jp/~idsc_fukuoka/)では、感染症発生情報、病原体検出情報などをご覧になれます。

■ 全数把握疾患報告

病名	福岡県		全国（前週）	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	14	634	260	10,509
腸管出血性大腸菌感染症	7	118	128	2,354
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	4	89	46	1,439
水痘（入院例）	1	21	8	337
梅毒	7	595	211	9,847
破傷風	1	1	0	58
百日咳	5	81	89	1,455

■ 定点把握疾患報告数

：警報レベル

：注意報レベル

病名	福岡県			全国（前週）	
	報告数	定点当たり	前週比	報告数	定点当たり
新型コロナウイルス感染症	488	2.46	0.82	32,443	6.57
インフルエンザ	78	0.39	2.11	2,220	0.45
RSウイルス感染症	87	0.73	0.93	2,167	0.69
咽頭結膜熱	21	0.18	0.55	915	0.29
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	513	4.28	1.16	5,914	1.89
感染性胃腸炎	416	3.47	1.05	8,989	2.87
水痘	19	0.16	0.40	445	0.14
手足口病（警報レベル）	710	5.92	1.14	22,485	7.17
伝染性紅斑	2	0.02	1.00	554	0.18
突発性発しん	45	0.38	1.07	979	0.31
ヘルパンギーナ	96	0.80	1.05	2,537	0.81
流行性耳下腺炎	6	0.05	1.20	136	0.04
急性出血性結膜炎	0	0.00	0.00	12	0.02
流行性角結膜炎	9	0.35	1.13	310	0.44
細菌性髄膜炎	0	0.00	-	8	0.02
無菌性髄膜炎	0	0.00	0.00	30	0.06
マイコプラズマ肺炎	19	1.27	0.70	585	1.22
クラミジア肺炎	0	0.00	-	1	0.00
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0	0.00	-	2	0.00

※新型コロナウイルス感染症について、現在、警報・注意報の基準値は設定されていません。